

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 病床機能再編支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療企画係 電話番号：058-272-1111(内3236)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 513,684 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	513,684	0	0	0	0	0	513,684	0	0
決定額	513,684	0	0	0	0	0	513,684	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

平成27年の改正医療法に基づき、将来(2025年)あるべき医療提供体制を、二次医療圏ごとに策定することとされ、当構想を検討する場として、各圏域に地域医療構想等調整会議を設置し、協議を進めているところ。

2025年の医療ニーズに対応するため、病床規模の適正化(病床削減)を図るとともに、病床機能の適正配分(高度急性期、急性期から不足する回復期への転換、慢性期から在宅医療等への移行)をさらに進める必要がある。

(2) 事業内容

支給先：療養病床又は一般病床を有する医療機関

事業内容：地域医療構想に即した病床機能再編を実施する医療機関に対して、減少する病床数に応じた給付金を支給

(3) 県負担・補助率の考え方

地域医療介護総合確保基金（国10／10）

(4) 類似事業の有無

病床適正化事業費補助金（地域医療介護総合確保基金）

（病床の削減に伴い不要となる病室等の転換に要する経費に対して補助）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
交付金	513,684	給付金の支給
合計	513,684	

決定額の考え方

--

4 参考事項

各種計画での位置づけ

第7期岐阜県保健医療計画

岐阜県地域医療構想

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

病床規模の適正化（病床削減）を図るとともに、病床機能の適正配分（高度急性期、急性期から不足する回復期への転換、慢性期から在宅医療等への移行）を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H27)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①一般病床及び療養病床数	18,014	16,997	/	/	14,978	/
②	/	/	/	/	/	/

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 3病院（計41床）の病床削減に対し、給付金を支給した。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	/
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	「団塊の世代」が後期高齢者となる2025年までに、地域医療構想の実現による県内の各地域にふさわしいバランスのとれた医療提供体制の構築が必要であり、各医療機関の取組を県が支援する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 1	医療機関の病床規模の適正化のインセンティブとなる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	事業量規模の把握のため、県内医療機関へニーズ調査を行うことで効率化を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 病床規模の適正化(病床削減)を図る医療機関を一定数確保し、地域医療構想の実現を図る必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 地域医療構想の実現に向けた医療機関の取組を継続的に実施していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】